

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成22年4月15日(2010.4.15)

【公開番号】特開2010-46140(P2010-46140A)

【公開日】平成22年3月4日(2010.3.4)

【年通号数】公開・登録公報2010-009

【出願番号】特願2008-210825(P2008-210825)

【国際特許分類】

A 47 J 27/00 (2006.01)

【F I】

A 47 J 27/00 103 E

A 47 J 27/00 103 R

A 47 J 27/00 103 Z

【手続補正書】

【提出日】平成22年1月28日(2010.1.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

被加熱物を収納する内鍋と、

該内鍋を収容する下部筐体と、

前記下部筐体の上面を開閉自在に覆う上部蓋と、

該上部蓋に設けられ、前記内鍋の上部開口部を開閉自在に覆う内蓋と、

該内蓋に形成され、前記被加熱物から生じる蒸気を前記内鍋内から排出する蒸気排出孔と、

前記上部蓋に設けられ、前記蒸気排出孔から排出される蒸気を誘導する蒸気導管と、

前記下部筐体に着脱自在に装着され、前記蒸気導管により導かれる蒸気を回収し復水して貯える水槽と、

前記上部蓋の天面に設けられ、各種入力操作を行なう操作部と、

前記上部蓋の天面に設けられ、各種情報を表示する表示部と、を有し、

前記蒸気導管は、

前記上部蓋の天面側から見て前記操作部及び前記表示部と重ならない位置に設置されることを特徴とする加熱調理器。

【請求項2】

前記水槽、前記操作部、前記表示部は、

前記加熱調理器の正面側に設置されている

ことを特徴とする請求項1に記載の加熱調理器。

【請求項3】

前記水槽と、前記操作部及び前記表示部は、

前記上部蓋の天面側から見て少なくとも一部が重なる位置に配置した

ことを特徴とする請求項1又は2に記載の加熱調理器。

【請求項4】

前記蒸気導管の一部を前記上部蓋の内部側面を沿うような形状として、前記操作部及び前記表示部を回避させる

ことを特徴とする請求項3に記載の加熱調理器。

【請求項 5】

被加熱物を収納する内鍋と、
該内鍋を収容する下部筐体と、
前記下部筐体の上面を開閉自在に覆う上部蓋と、
該上部蓋に設けられ、前記内鍋の上部開口部を開閉自在に覆う内蓋と、
該内蓋に形成され、前記被加熱物から生じる蒸気を前記内鍋内から排出する蒸気排出孔と、
前記上部蓋に設けられ、前記蒸気排出孔から排出される蒸気を誘導する蒸気導管と、
前記下部筐体に着脱自在に装着され、前記蒸気導管により導かれる蒸気を回収し復水して貯える水槽と、
前記上部蓋の天面に設けられ、各種入力操作を行なう操作部と、を有し、
前記蒸気導管は、
前記上部蓋の天面側から見て前記操作部と重ならない位置に設置されることを特徴とする加熱調理器。

【請求項 6】

前記水槽、前記操作部は、
前記加熱調理器の正面側に設置されている
ことを特徴とする請求項 5 に記載の加熱調理器。

【請求項 7】

前記水槽と前記操作部は、
前記上部蓋の天面側から見て少なくとも一部が重なる位置に配置したこと
を特徴とする請求項 5 又は 6 に記載の加熱調理器。

【請求項 8】

前記蒸気導管の一部を前記上部蓋の内部側面を沿うような形状として、前記操作部を回避させる
ことを特徴とする請求項 7 に記載の加熱調理器。

【請求項 9】

被加熱物を収納する内鍋と、
該内鍋を収容する下部筐体と、
前記下部筐体の上面を開閉自在に覆う上部蓋と、
該上部蓋に設けられ、前記内鍋の上部開口部を開閉自在に覆う内蓋と、
該内蓋に形成され、前記被加熱物から生じる蒸気を前記内鍋内から排出する蒸気排出孔と、
前記上部蓋に設けられ、前記蒸気排出孔から排出される蒸気を誘導する蒸気導管と、
前記下部筐体に着脱自在に装着され、前記蒸気導管により導かれる蒸気を回収し復水して貯える水槽と、
前記上部蓋の天面に設けられ、各種情報を表示する表示部と、を有し、
前記蒸気導管は、
前記上部蓋の天面側から見て前記表示部と重ならない位置に設置されることを特徴とする加熱調理器。

【請求項 10】

前記水槽、前記表示部は、
前記加熱調理器の正面側に設置されている
ことを特徴とする請求項 9 に記載の加熱調理器。

【請求項 11】

前記水槽と前記表示部は、
前記上部蓋の天面側から見て少なくとも一部が重なる位置に配置したこと
を特徴とする請求項 9 又は 10 に記載の加熱調理器。

【請求項 12】

前記蒸気導管の一部を前記上部蓋の内部側面を沿うような形状として、前記表示部を回

避させる

ことを特徴とする請求項11に記載の加熱調理器。

【請求項13】

前記蒸気導管は、

前記内蓋との連結部から前記上部蓋の側面に向けて徐々に流路断面積を拡大させた部分と、この部分に連通し、前記上部蓋の内部側面を前記水槽の連結部に向けて沿うように延設された部分と、で構成している

ことを特徴とする請求項4、8又は12に記載の加熱調理器。

【請求項14】

前記蒸気導管の平面形状を略L字形状としている

ことを特徴とする請求項4、8又は12に記載の加熱調理器。

【請求項15】

前記上部蓋の底面に凹部を形成し、

この凹部に前記内蓋及び前記蒸気導管を装着し、前記蒸気導管を前記内蓋と前記上部蓋とで挟持する

ことを特徴とする請求項1～14のいずれか一項に記載の加熱調理器。

【請求項16】

前記蒸気導管を前記内蓋の上側に予め取り付けている

ことを特徴とする請求項15に記載の加熱調理器。